

# 意見交換会実施報告書（各種団体）

【全体会】

開催団体	JA北さつま	参加人員	54人
開催日時	平成28年2月2日（火）16:45～17:35		
開催場所	ホテルオートリ		
出席議員 （担当）	1班；持原秀行/帯田裕達/井上勝博/佃昌樹/今塩屋裕一/福元光一/徳永武次 2班；川添公貴/成川幸太郎/江口是彦/瀬尾和敬/杉藺道朗/小田原勇次郎 3班；永山伸一/中島由美子/上野一誠/福田俊一郎/森永靖子/森満晃 4班；宮里兼実/下園政喜/新原春二/川畑善照/大田黒博/谷津由尚 （司会進行；新原春二/記録・報告書作成；谷津由尚）		

## 意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

テーマ；水稲・園芸・果樹・茶業・畜産部門における北さつま農協川内管内における農畜産物の現状と振興方策について

### 《意見交換》

#### 1、JA北さつまとの紹介

県下15農協 組合員数；2位

貯金額；南さつまと同等1, 300億円程度で1位

公金の貯蓄もJAにお願いしたい。

貯金収益；10億8千万

購買事業；11億6千万

販売事業；今年は畜産合計120億円にいくと思われる。

昨年、TPPと農協改革で国は動いた。しかし農業が無ければ地域は成り立たないことを分かって欲しい。20年後の地域をどのように見るかが大事である。

#### 2、全体会に対する質疑応答

◇全体に対しTPPに触れていない。これに対しどのような考えがあるか。

◆ごもつともだ。昨年1年間は本当に疲れた。むなしさや力不足を感じていた。マスコミがいろいろと言っているが、継続して頑張っていく。今日は地域の農業振興の問題であり、TPPは大きすぎる場所もあるが、20年後の関税撤廃等、今のままでは将来が望めない。将来の展望を望める様な環境でなければ、後継者を育てることはできないと思っている。

◆詳細な情報が入ってこない中でも、農産物のことは言わなければならない。

◇TPPに関しては真剣に考えて対応している。中身が見えないところがある。影響が出るであろう国内の農業生産者に対しては、しっかりとした対策を講じることを国に求めている。今後2～3年かかると思われるため、それまでの間は説明責任を果たすことを求めている。

◆要望；茶業について、世の中のスピードが速くなり、お茶に関連する機会が減ってきている環境もある。議会の中で、是非ともお茶を飲める文化を構築して欲しい。相手の事を考える“お茶くみ”は素晴らしい仕事ではないかと思っている。学校給食で米飯とパンは半々。しかし牛乳は毎回あるので、米飯と牛乳の組み合わせもある。これはおかしいと思う。米飯の時はお茶をつける文化が欲しい。（牛乳+お茶）お茶は一人1杯20円で可能である。（1000円/100gのお茶でも）なんとか普及に協力を願う。

◆畜産はどんなものなのかを分かって欲しい。バイオマスに関係することで、畜産農家は足元に木材を敷物にすることが大事だが、木片価格が上昇している（約130%）これが大変な状況となっている。このような状況にあっても、畜産農家は頑張っている。一番の売り上げをあげているのだから。今後、関係者の話を良く聞いて欲しい。

◆原発について、万一の場合一番の被害を受けるのが農産物である。免震重要棟について、今もめているが、風評被害を未然に防ぐためには、きっちり議会で確認、申し入れをやって欲しい。

◇九電の直近の広報等のありかたについて、先日社長に直接申し入れをしている。今後、規制委員会との審査がはじまることになるが、議会としても十分に説明は求めていく。これまでの再稼働までの経緯と行動について、今後きちんと確認をしていく。

◇本日の意見を整理して、今後の政策に生かしていきたい。

※今後の政策反映の検討が必要なことから、出された意見は要約の上、基本的にすべてを記載しております。ご了承願います。